

これくらい大丈夫だ
たいしたことはない
と思ってしまう

まわりのみんなと一緒に
みんな逃げていないから安心

前回大丈夫だった
今まで大した被害は
無かった

自分は大丈夫
まさか自分が被害に
遭うとは

その場の情報を信じて判断
深く考えず咄嗟に目の前の
情報を信じてしまう

していませんか？
思い込み
起きた後

災

思っていない？
自分は大丈夫
起きる前

備えているから大丈夫
備えていることで安心
してしまう

上下水道局が行うこと

家庭でできること

家庭でできる備え

上下水道局も備えています

緊急遮断弁で配水池の 水を確保

地震に備え、市内にある配水池のうち11カ所に緊急遮断弁を設置しています。地震発生時に配水管の破損等で配水池の水が流出してしまわないよう、震度5以上の地震が発生すると、自動的に弁が閉まり配水池にある水を確保します。

水の使い方

災害時に断水等が生じると、飲用・調理用の水に加えてトイレや洗濯などに使う「生活用水」も必要になります。日頃から、風呂の残り湯をためておくことやポリタンクなどに水を入れて備えておく等で、生活用水を確保しておきましょう。生活用水の確保には、雨水貯留タンクもおすすめです（裏表紙参照）。

飲用水の備蓄

人が生きていくためには、1日あたり平均3Lの水が必要とされています。また、災害発生時に水道施設が破損した場合、復旧まで時間を要する事が想定されます。災害時の断水等に備えてひとりあたり最低3日分=9L、できれば7日分=21Lの飲用水を備えておきましょう。



管路の耐震化

震災時の管路破損に備え管路の耐震化を進めています。浄水場から配水池、配水池から各地域に水を供給する基幹管路を優先して管路の更新を行い、震災時の断水等の影響を最小限にとどめるように努めています。



水道管の耐震化工事

近隣市町と災害時の 相互応援協定

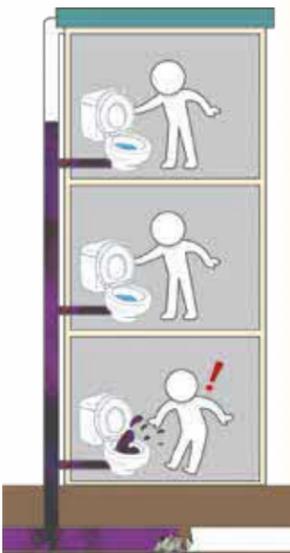
川西市では、近隣市町と災害等の緊急時における水道業務の相互応援の協定を結んでおり、緊急時の相互融通のための相互融通管の設置及び管理を行っています。また、災害時に備え合同で訓練も行っています。



猪名川町との相互融通訓練

下水の使い方

災害時はトイレ自体が壊れていなくても排水管が破損している可能性があります。その場合、トイレを流してしまうと汚水が流れずに溢れ出すこともあります。また、マンションなどの集合住宅の場合は上の階の人が流した汚水が1階に集まり溢れてしまいます。災害時にトイレを使用する際は、排水管の破損や停電など周囲の情報を確認して下さい。



トイレ対策

ご家庭のトイレ（水洗トイレ）が使えなくなることがありますので、組立式のダンボールトイレの備えをおすすめします。



ハザードマップ

お住まいの地域のハザードマップで災害時に備えて、家庭で避難場所や避難経路を確認して共有しておきましょう。



川西市防災マップ
(ハザードマップ)

応急給水訓練

災害等による断水時には、給水タンク車や仮設給水タンクを使った応急給水を行います。また、災害発生時に迅速に対応できるよう、毎年応急給水訓練を実施しています。



応急給水訓練の様子